

音 楽 科 の 学 習 方 法

音楽科の目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」ことを目標としています。

♪ 1 学年の目標

- ◇ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- ◇ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を育てる。
- ◇ 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

♪ 2・3 学年の目標

- ◇ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ◇ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- ◇ 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

音楽科の学習計画

※行事との関わりのため、多少の変更がある場合があります。

※学年が上がるごとに同じ分野でもステップアップします。

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	○オリエンテーション・校歌	○オリエンテーション・校歌	○オリエンテーション・校歌
5	○斉唱曲・混声合唱への導入	○混声三部合唱曲 ○イタリア歌曲	○日本歌曲
6	○アルトリコーダー	○鑑賞	○世界の音楽
7	○鑑賞 ○混声三部合唱曲	○創作	○創作 ○アルトリコーダー
8			
9	○校内音楽会学年合唱曲、 クラス曲	○校内音楽会学年合唱曲、 クラス曲	○校内音楽会学年合唱曲、 クラス曲
10			
11	○鑑賞 ○創作	○鑑賞	○鑑賞
12	○アルトリコーダー	○アルトリコーダー	○日本の音楽
1	○日本の音楽、アジアの音楽 ○箏	○日本の音楽	○鍵盤楽器
2	○卒業式・三送会の合唱曲	○卒業式・三送会の合唱曲	○卒業式・三送会の合唱曲
3			

音楽科の評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	<ul style="list-style-type: none"> ○音符の長さ、階名、記号の意味など楽譜を正しく読み取ることができる。 ○発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方などを身につけて歌うことができる。 ○楽器の奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方、読譜の仕方などを身につけて演奏することができる。 ○課題に沿った音の組み合わせ方、記譜の仕方を身につけて創作することができる。等 	<ul style="list-style-type: none"> ○諸要素の働きによって生み出される特質や雰囲気を感じ取ることができる。 ○音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取って、自分の思いや感じ取ったことを音楽要素と関連付けて鑑賞することができる。 ○思いや意図をもって曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ○言葉で説明するなどして音楽のよさを味わって聴くことができる。等 	<ul style="list-style-type: none"> ○音や音楽に関心をもち、主体的に活動に取り組むことができる。 ○音楽の楽しさを進んで味わうことができる。 ○リーダーとしてグループやパートをまとめることができる。 ○仲間と協力して活動に取り組むことができる。等
評価の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の観察 ○プリント ○実技テスト ○定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の観察 ○楽譜 ○実技テスト ○定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の観察 ○実技テスト ○プリント ○忘れ物、提出物 ○定期テスト
	十分満足できる・・・A	おおむね満足できる・・・B	努力を要する・・・C

音楽科の学習の仕方

中学校の3年間は、身体も心も大きく成長する時期です。この時期に美しい音楽に触れ、感性を豊かにし、仲間と共に音楽を奏でる楽しさを味わうことはとても大切なことです。積極的に活動に取り組み、音楽の良さに感動する体験を増やしましょう。

◇授業で・・・

授業では仲間と一緒にいる音楽活動が多いです。協力しながら音楽を創りあげる喜びをたくさん味わいましょう。毎回の授業に集中して臨み、心や頭や体をたっぷり使って音楽を体いっぱい感じてください。歌うときや楽器を演奏するときにはのびのびと、堂々と自分を表現してください。音楽を聴くときは耳をすまして、その音楽の良さを味わってください。美しいものに触れ、心はどんどん豊かになっていきます。

〈音楽の授業の心構え〉

- ①素直な気持ちで感じる心を持つ。
- ②一生懸命取り組む仲間を応援する気持ちを持つ。
- ③自分の考えやイメージを持って練習し、音楽を創り上げる喜びを味わおう。
- ④仲間と協力して取り組み、切磋琢磨しながらお互い高め合おう。
- ⑤耳をよく使って美しい音を聴き分けよう。

◇家庭で・・・

学校ではなかなか生演奏を聴くことはできません。CD などでは味わえない生演奏のすばらしさを体験する機会をつくりましょう。また、生演奏ではなくても、CD やテレビ、パソコン、ラジオ等で様々なジャンルの音楽を聴くことができます。生活の中に上手に音楽を取り入れ、暮らしを潤いのあるものにしていきましょう。

◇授業で必要なもの

教科書・合唱曲集・アルトリコーダー・ファイル